

2025 年度全日本柔道連盟強化選手選考会栃木県予選
実施要項
無観客で実施

1 期 日 令和 8 (2026) 年 1 月 31 日 (土)

2 会 場 足利市武道館 (足利市総合運動場内)
〒326-0066 栃木県足利市田所町 1123 TEL 0284-41-1851

3 主 催 栃木県柔道連盟

4 競技種目

- (1) 男子 : 90kg 級、100kg 級
- (2) 女子 : 70kg 級、78kg 級

5 競技日程

9 : 00 ~	開館、受付、会場作成
9 : 30 ~ 10 : 00	予備計量
10 : 00 ~ 10 : 20	本計量 ※時間内 2 回まで認める
10 : 20 ~ 10 : 30	審判監督会議
10 : 30 ~ 10 : 40	開会式
10 : 50 ~ 13 : 00	競技
13 : 00 ~ 13 : 30	閉会式、片付け、解散

※当日の進行により時間が前後することがある。その際は放送で周知する。

6 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第 1 条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
- (2) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在籍する学校長から出場の許可を受けること。
- (3) 選手は栃木県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該競技専門部に登録している者とする。
- (4) 令和 7 年度に栃木県柔道連盟を経て、(公財) 全日本柔道連盟に登録を完了した者とする。
- (5) 平成 19 (2007) 年 4 月 2 日以降に生まれた者 (2025 年 4 月 2 日現在、18 歳未満であり、第 1、2 学年に在籍) とし、同一学年での出場は 1 回限りとする。(「出場」とは登録やエントリーだけでなく、試合への出場回数を指し、顧問が責任を持って調整・確認する。)
- (6) 外国人留学生については、卒業を目的とし入学していること。(短期留学は認めない。)

7 競技方法

- (1) 國際柔道連盟試合審判規程（最新）並びに（公財）全國高體連柔道専門部申し合わせ事項による。
- ア 試合時間は3分間とする。
- イ 「優勢勝ち」の判定基準は「有効」または「僅差」（「指導」差2）以上とする。
- ウ 試合終了時に得点差が無い場合、もしくは、「指導」差が1以下の場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行う。延長戦は「有効」以上の得点があった時点、または「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。
- ※「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、勝敗を決する。延長戦で、「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。
- (2) 試合はトーナメント方式で行い、敗者復活戦は行わない。

8 引率・監督

引率責任者は、校長の認める学校の職員とする。

9 参加申込み

- (1) エントリー数
- 各校のエントリー数に制限は設けない。
- (2) 申込み方法
- ※ 以下のア及びイともに行うこと。
- ア 栃高体連柔道専門部ホームページより申込ファイル（EXCEL形式）をダウンロードしデータを入力し、プリンターで印刷したものを郵送するかPDFデータに変換した物を電子メールに添付して送信する。校長及び顧問印の無いものは受け付けない。
- イ データを入力した申込ファイル（EXCEL形式）を電子メールに添付して送信すること。
- (3) 申込み先
- ※ 以下のア及びイともに行うこと。
- ア 〒321-0973 栃木県宇都宮市岩曽町606
栃木県立宇都宮北高等学校 市川敦敏（ichikawa-a01@tochigi-edu.ed.jp）宛て
- イ 栃木県立烏山高等学校 平野聖（hirano-s01@tochigi-edu.ed.jp）宛て
- (4) 申込み期限
- 令和8(2026)年1月15日（木）必着
- (5) その他
- 大会参加にあたっては、本人及び保護者の同意を得ること。

10 参加料

1名参加につき2,000円を大会当日、申込み人数分をまとめて、受け付けの際に徴収する。

※感染症等により不参加となる場合も参加料を徴収する。

11 表彰

各階級ベスト4以上を表彰する。

12 組合せ抽選

- (1) 期日：令和8(2026)年1月20日(火) 13:30~
- (2) 場所：ユウケイ武道館会議室1
- (3) 抽選：栃高体連柔道専門委員
- (4) 発表：(1)の翌日に栃木県高等学校体育連盟柔道専門部及び栃木県柔道連盟ホームページで行う。
- (5) シード：同年度栃木県高等学校新人柔道大会兼関東高等学校選抜柔道大会栃木県予選において同階級でベスト4に入賞した選手をシードする。

13 安全管理

大会期間中における安全対策及び緊急時の対応については「栃木県高等学校体育連盟危機管理マニュアル」に準じて、適切に対応する。

14 服装

選手は以下の規格の白柔道衣を着用すること。

- (1) 柔道衣について：全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣を着用すること。
- (2) 帯について：国際柔道連盟公認マークまたは全柔連認証番号ラベル(“JU”と4桁の数字が入ったラベル)が着いている帶を着用すること。
 - ・全柔連柔道衣規格合格品のリストは全柔連HPを参照すること。
 - ・柔道衣の大きさまたは規格が規程に合わない場合は出場を認めない。

15 ゼッケン

各自で以下の要領にて必ず縫い付けること。

- (1) 布地は白色とし、苗字を上部2/3、所属を下部1/3に記載すること。
- (2) 書体は楷書体とし、ゴシック体または明朝体を用いること。
- (3) 男子は黒文字、女子は赤文字とする。
- (4) サイズは横30cm~50cm、縦25cm~30cm。
- (5) 後ろ襟から5~10cm下部に縫い付け、対角線にも強い糸で縫い付けること。

16 その他

- (1) 大会は無観客で実施する。
- (2) 各校で大会会場に入館できるのは選手、引率者、帯同者(エントリーされた選手以外に1名)のみとする。

- (3) 指導者は、柔道の安全指導第6版（全柔連）、初心者の事故防止の徹底事項「6ヶ月程度の十分な練習期間を設け、受け身や基本動作に成熟し、試合等も攻防に対応できる体力が備わるまでは大会等の対外試合に参加できない」を厳守すること。また、6ヶ月程度が経過していても、選手の意向をよく確認して、選手の精神的負担をできるだけ配慮するとともに、よく相談をしてから参加の有無を判断すること。
- (4) 脳しんとう対応について、選手及び指導者は次の事項を遵守すること。
- ア 大会前1ヶ月以内に脳しんとうを受傷した者は、脳神経外科医の診察を受け出場の許可を得ること。
- イ 大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することはできない。なお、至急専門医(脳神経外科)の精密検査を受けること。
- ウ 上記イの場合、当該選手の指導者は、(公財)全日本柔道連盟の他、大会事務局に対しても、書面により事故報告書を提出すること。
- エ 練習再開に際しては、脳神経外科医の診断を受け許可を得ること。
- (5) 指導者は、皮膚真菌症(トンズラヌ感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- (6) 主催者において選手の傷害保険に加入し、その費用を負担する。
- (7) 感染症等の流行状況により、大会内容が変更となることもある。その場合は栃木県高等学校体育連盟柔道専門部及び栃木県柔道連盟ホームページ等を活用して周知する。
- (8) 選手は、ケガ等による受診に備えてマイナンバーカード（健康保険証利用登録済み）または、資格確認書を持参すること。
- (9) 個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについては「栃木県高等学校体育連盟主催大会における個人情報及び肖像権に関する取り扱いについて」に準ずる他、以下のとおりとする。
- ア 申込用紙に記載された個人情報、競技結果、大会時に撮影された写真、または動画等の映像が、栃木県高等学校体育連盟柔道専門部及び栃木県柔道連盟ホームページに掲載されることがある。
- イ 大会時に撮影する映像(ケアシステム等)を、審判員及び指導者の資質向上のための研修会資料として使用する場合がある。
- ウ 参加申込書に記載された個人情報については、上記の目的以外に利用しない。
- エ 参加の申込みにより、個人情報、競技結果、肖像権についての上記の取り扱いに関する承諾を得たものとする。
- (10) 顧問は、当要項の内容を選手及び保護者に周知すること。
- (11) 栃木県高等学校体育連盟柔道専門部ホームページアドレス及び2次元コード
[\[http://tochigikoutairenjudo.info/index.html\]](http://tochigikoutairenjudo.info/index.html)
- ※ 各種大会に関する情報等を掲載するので隨時確認すること。
※ 選手及び保護者に周知すること。

